

多度支所介護福祉係 事例発表

平成26年度実施事業

介護保険（指定居宅サービス事業）
多度デイサービスセンターすこやか
多度すこやかセンター
月～土

桑名市からの委託事業
自立支援デイサービス事業
すこやか荘（福祉会館）
基本 火

両事業の対象者は多度町在住の方々です。職員も約半数が多度町在住者で運営しています。

すこやか荘の自立デイサービス事業とは

すこやかセンター開設（平成4年）以来、保険事業とタイアップして自立デイサービスを開始。平成12年からの介護保険事業に合わせ、通常のデイサービス事業とホームヘルプサービスに加え、自立と判断される対象者を町内5地域に分けて、すこやか荘において介護予防を目的に自立デイサービス事業を開始。合わせて、老人保健事業で保健師が各家庭を訪問巡回していた事業を見直し、自治会ごとにふれあいサロンの開設。しかし、地域によりふれあいサロンを開設できない地域もあった為、**介護予防の為に自立デイサービスへの参加を呼び掛けてきました。**結果各自治会のふれあいサロン開設箇所は増加し約半数の地域自治会での開設が来ています。【全自治会23・サロン開設11（個人開設1含む）】通所介護事業でつちかった知識や経験を活かして現在もふれあいサロンへ出向き脳トレ・体操・レクリエーション等の提供を行ったり、自立デイサービス事業には通所介護の職員が交代で対応しています。通所介護との交流も実施しています。

	介護保険	
	月平均登録者数	述人数
平成19年度	62	5584
平成20年度	63	5503
平成21年度	60	6111
平成22年度	57	5874
平成23年度	54	5394
平成24年度	52	5577
平成25年度	55	6186

	自立デイ	
	月平均登録者数	述人数
	30	1018
	24	774
	18	599
	16	553
	14	425
	9	314
	9	280

現在の介護保険利用者の平均年齢は84歳・自立デイ利用者の平均年齢85.8歳。

桑名市との合併により、平成22年3月以降は自立支援デイサービス事業実施要綱が出来て制限があり利用者は減少しています。最近の自立デイから介護保険への移行時期は95歳・87歳。在宅生活の継続と介護保険事業への移行時期が延伸出来たと思われます。このことは介護保険に係る経費の節減になっていると考えられます。今年度で終了する自立デイサービスの利用者の方々に対し、今後どの様な方法で介護予防を実施していくかが課題です。

多度地区方々の特徴

郷土愛が強く、
隣近所や親族とのつ
ながりが強い

在宅介護の意識が
高い（世間体も）

新しい取り組み実施
までに時間がかかる
（今まで通りが安心）

苦情の訴えが少ない
（表立って反対意見
等を表明しない）

（利用者・家族）

- ・ 要望確認アンケートを実施
- ・ 住民である職員やボランティアさんや民生委員さんからの情報収集

（職員）

- ・ 業務改善アンケート
- ・ 個別の利用者について、援助方法の統一や利用者が持っている力を引き出す援助方法を検討
⇒ **生活の場の専門職**になる
- ・ 感染予防の為に食事・おやつの前の手洗いを実施
⇒ 自宅に戻ってからも手洗い習慣
（インフルエンザ・胃腸風邪予防に効果有）

自然が豊か・地域の祭りなど行事を共有

介助ボランティア（+民生委員）

地域の中学は1校＝同年齢は同級生

多度すこやかセンターは

利用者が元気で活躍していた時を知っている人がいる場
利用者の尊厳を守り、他者との関係作りを継続できる場
家族と共に安心して暮らせる（介護力を弱めず）生活の場
利用者・家族を（ねぎらい）精神的に支える場

やりたいという意欲を取り戻せる場

介護予防の為に生活動作訓練が出来る場 **を目指して介護予防に向けた援助を行っていきます。**

行きたい場がある事がデイサービスで元気になり卒業したいと意欲をもって生活動作訓練を行う動機づけになると考えます。社会福祉協議会の職員として、北部西地域包括支援センターや地域福祉係と協力連携し、地域住民の方々と共に、デイサービスで元気になった方が出かけたと思える**地域に合った居場所**づくり、参加出来る場作りに努めたいと思います。